



「緑の募金」

家庭募金のすすめ

公益社団法人 北海道森と緑の会

毎年「緑の募金」に多大のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり「緑の募金」運動は、緑化思想を普及啓発し、募金による森林整備等の活動を広く国民運動として実施するものです。家庭募金は町内会などが中心になって各家庭に募金の案内と緑の羽根を回覧し、募金を集める方法であり、すべての住民が参加でき、募金の成果も大きいことから、ぜひ各市町村、市町村緑化推進委員会（以下「市町村等」という）で取り組んでいただきたい募金方法です。

しかしながら、北海道は全国の他府県と比較すると相対的に家庭募金の割合が小さく、家庭募金に取り組んでいる市町村等は 51 に止まっています。

全国の募金額(H31.1～R元.12)

単位:千円

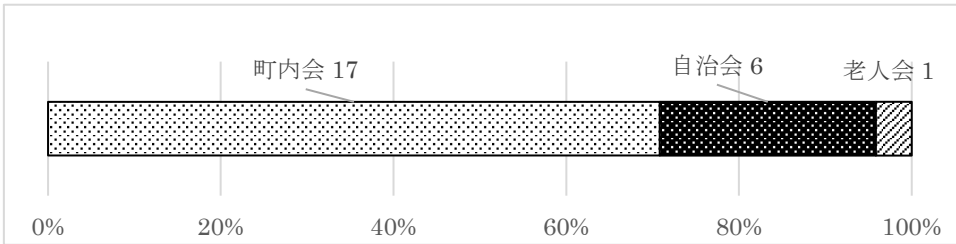
	H30 年度	合計	家庭募金	街頭募金	職場募金	企業募金	学校募金	その他
全国	1,701,979	1,688,631	1,058,917	42,471	187,179	247,273	105,444	47,346
構成比		100%	63%	3%	11%	15%	6%	3%
北海道	33,812	34,306	8,501	3,365	6,434	12,101	2,433	1,472
構成比		100%	25%	10%	19%	35%	7%	4%
順位	20	19	36	1	9	3	17	11

*各都道府県緑化推進委員会分のみ(国土緑化推進機構分を除く)

このたび、北海道森と緑の会では、全道で特に家庭募金で大きな成果を上げている市町村等にその実施方法等についてアンケート調査を実施し、18市町村等から回答を得ましたので、これから家庭募金を実施する又は家庭募金の取組の拡大を目指す市町村等の参考としていただけたら幸いです。

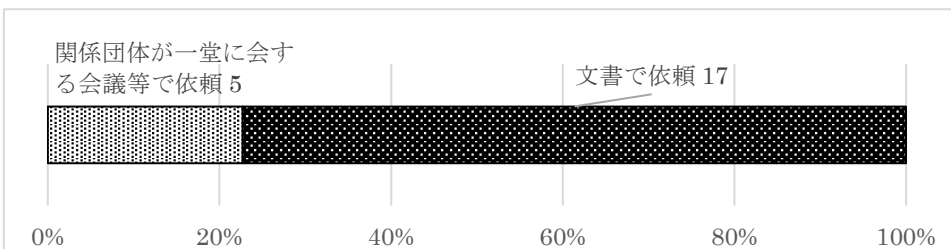
なお、アンケート調査結果は構成比横棒グラフで表していますが、いずれの設問も重複回答可としていますので、回答数の合計は回答市町村数と一致しない場合があります。

■家庭募金を実施するにあたり、協力を依頼している組織



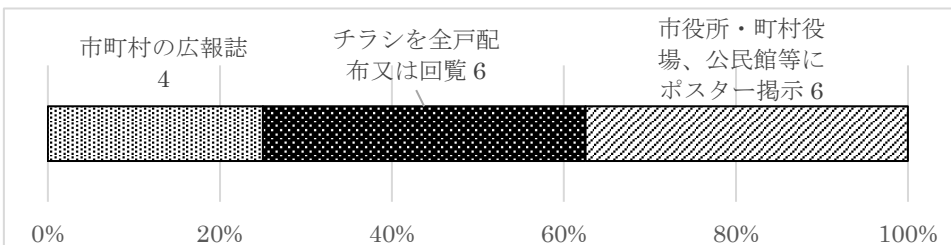
町内会、自治会に協力依頼している市町村等がほとんどです。過去には地域の婦人会に家庭募金の協力を依頼しているケースもありました。

■協力依頼の方法

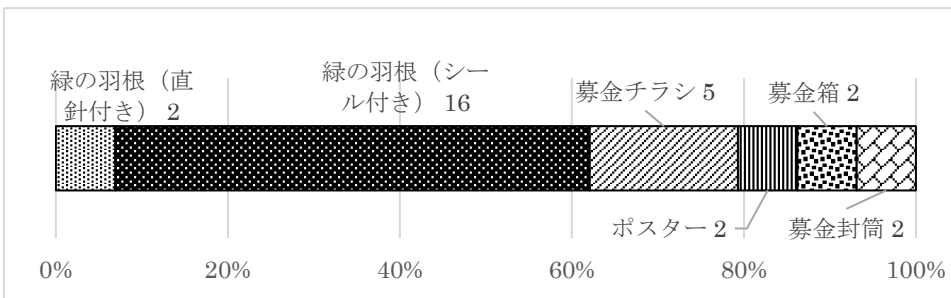


ほとんどの市町村等が「文書で依頼」しており、これに「会議等で依頼」を組み合わせている例もあります。文書のスタイルは市町村等の事情に応じていろいろですが、標準的な依頼文（例）を作成して添付していますので、参考にしてください。

■募金の周知PRの方法



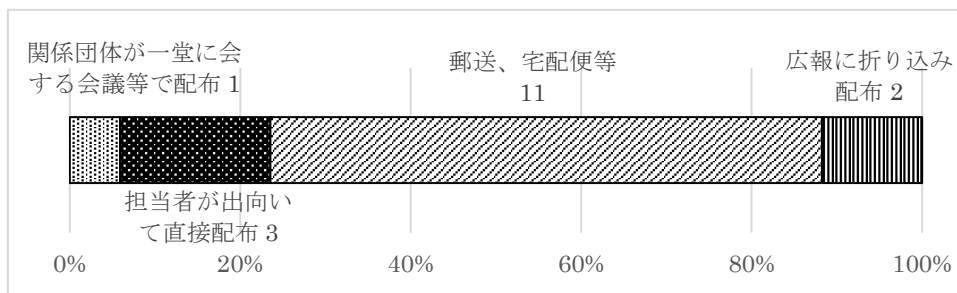
■家庭募金用に配布している資材



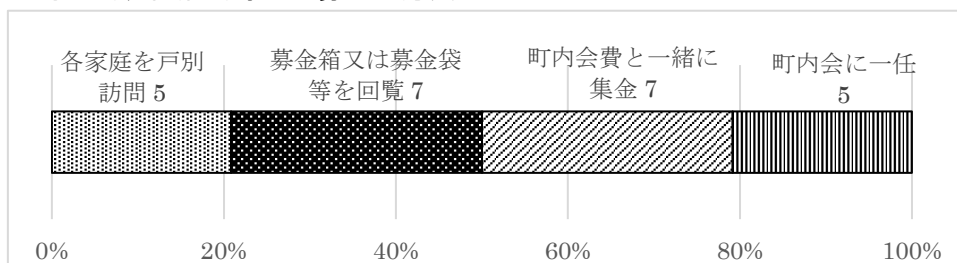
「募金封筒」は森と緑の会では配布しておらず、地域の事情に応じて工夫して製作されているものです。それ以外の募金資材は、追加の配布が必要な場合は随時当会にご連絡くださ

い。在庫対応可能なものは無償で配布します。ポスター、チラシには全道の小中学生、高校生から募集して選考した原画、標語を掲載しています。

■資材配布の方法

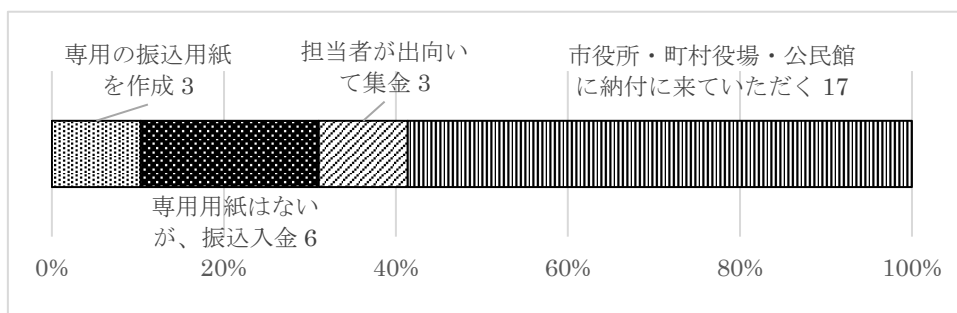


■町内会、自治会等での募金の方法

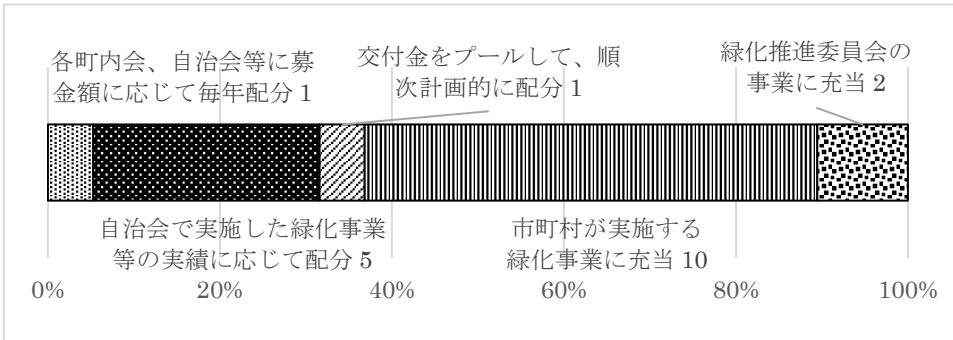


複数回答された市町村等が多く、方法の選択は町内会等の実状に応じて一任している場合が多いようです。町内会費と一緒に集金している例、また、全員の合意を得て町内会費から支出している例もあります。

■集まった募金の納付方法



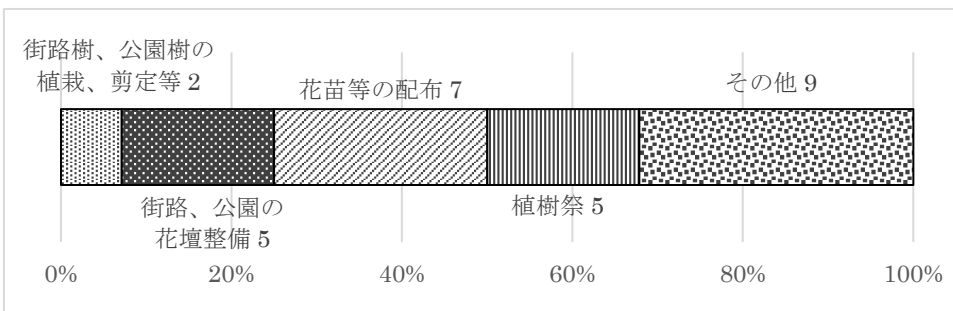
■緑の募金事業交付金の配分方法



市町村等が集めた募金のうち約 65%は「緑の募金事業費」として地域の緑化事業に充てていただいています。募金協力団体等に配分してそれぞれ緑化事業を実施していただくことも可能ですが、少額分散で効果的な事業が実施できない場合は、これを市町村等が実施する事業に充てることもできます。いずれの場合も、地域で集めた募金は地域の皆さんのための緑化事業に使うという考え方を基本としています。

なお、募金のうち約 35%を全道や全国の公募事業、被災地支援事業、募金活動の普及啓発、募金資材の購入費などに充てるために「緑化推進費」として北海道森と緑の会に納付していただいています。

■緑の募金事業交付金の使途



街路や公園等の樹木の植栽、剪定、花壇の整備、各家庭への花苗への配布などは募金の成果を直接町内会等に還元できる事業の実施方法なので、募金活動の協力への理解が得られやすい事業です。また、地域住民の皆さんが参加する植樹祭の開催費に充てている例も比較的多くみられます。「その他」としては、花壇コンクール、オープンガーデン、学校の花壇整備、森林教室、木育イベントなどの回答がありました。

■協力依頼文の例

ほとんどの市町村等が町内会、自治会等への協力依頼文書を作成しています。文書のスタイルは地域の実情を反映してさまざまな様式のものがありますが、回答をいただいた市町村等の例を参考として作成した文例を、次のページに掲載しますので、参考にしてください。

【依頼文例】

令和〇年〇月

町内会、自治会 各位

〇〇市町村緑化推進委員会 会長 〇〇〇〇
(又は 〇〇市町村長 〇〇〇〇)

令和〇年度「緑の募金」家庭募金の協力について（依頼）

陽春の候 皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、緑化の推進と美しいまちづくりに、多大なご理解ご協力をいただき心からお礼申し上げます。

「緑の募金」は、森林を整備して地球環境の保全や水資源のかん養などに貢献するとともに、学校、公園、街路などの私たちの生活環境に身近な緑化事業にも大きな役割を果たしており、多くの皆様が参加する幅広い国民運動として毎年実施しています。

つきましては、地域住民の皆様の参加による家庭募金を次のとおり実施しますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

記

- 1 主 催 公益社団法人北海道森と緑の会
- 2 実施主体 〇〇市町村緑化推進委員会
- 3 募金運動実施期間

春期募金	4月15日～	5月31日
北海道緑化募金	6月1日～	6月30日
秋期募金	9月1日～	10月31日
- 4 募金の実施方法
募金チラシ及び緑の羽根を回覧していただき、各家庭に募金協力を呼びかけてください。
- 5 配布する募金資材
緑の羽根、募金チラシ、募金箱、募金封筒 ***実際に配布している資材を記載**
- 6 募金の納付
集まった募金は〇月〇日までに次のいずれかの方法で〇〇市町村緑化推進委員会に納付をお願いします。 ***対応可能な納付方法を記載**
- 7 募金の使途
皆様からお寄せいただいた募金は、募金総額の65%を〇〇市町村緑化推進委員会が実施する以下の緑化事業の充当し、35%は公益社団法人北海道森と緑の会を通じて、全道、全国の緑化事業、災害復興支援、国際緑化協力、緑化の普及啓発に充てられます。
***必要に応じて、地域で実施している緑の募金緑化事業を記載**